【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公表番号】特表2005-534476(P2005-534476A)
【公表日】平成17年11月17日(2005.11.17)
【年通号数】公開・登録公報2005-045
【出願番号】特願2004-524638(P2004-524638)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　20/28　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/53　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/49　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/60　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　20/28　Ｚ
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｄ
Ａ６１Ｆ　13/18　３０７Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月10日(2006.7.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水膨潤性かつ水不溶性の超吸収体材料からなる超吸収体材料であって、前記超吸収体材料が、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムの超吸収体材料膨潤レベルにおける第１ゲル床摩擦角と、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムより大きい超吸収体材料膨潤レベルにおいて、前記第１ゲル床摩擦角に実質的に等しいか、又はそれより小さいゲル床摩擦角とを有し、前記第１ゲル床摩擦角が、約２０度であるか又はそれより小さいことを特徴とする超吸収体材料。
【請求項２】
水膨潤性かつ水不溶性の超吸収体材料からなる超吸収体材料であって、前記超吸収体材料が、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムの超吸収体材料膨潤レベルにおける第１ゲル床摩擦角と、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムより大きい超吸収体材料膨潤レベルにおける、前記第１ゲル床摩擦角より大きいゲル床摩擦角とを有し、前記第１ゲル床摩擦角が、約２０度であるか又はそれより小さいことを特徴とする超吸収体材料。
【請求項３】
複数の湿潤可能な繊維と、
前記湿潤可能な繊維と組み合わせられ、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムの超吸収体材料膨潤レベルにおける第１ゲル床摩擦角と、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムより大きい超吸収体材料膨潤レベルにおける、前記第１ゲル床摩擦角に実質的に等しい、又はそれより小さいゲル床摩擦角とを有する、水膨潤性かつ水不溶性の超吸収体材料と、
を含み、前記第１ゲル床摩擦角が、約２０度であるか又はそれより小さいことを特徴とする吸収体複合材。

【請求項４】
複数の湿潤可能な繊維と、
前記湿潤可能な繊維と組み合わせられ、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムの超吸収体材料膨潤レベルにおける第１ゲル床摩擦角と、０．９重量パーセント塩化ナトリウム溶液約２．０グラム／超吸収体材料１グラムより大きい超吸収体材料膨潤レベルにおける、前記第１ゲル床摩擦角より大きいゲル床摩擦角とを有する、水膨潤性かつ水不溶性の超吸収体材料と、
を含み、前記第１ゲル床摩擦角が、約２０度であるか又はそれより小さいことを特徴とする吸収体複合材。
【請求項５】
水膨潤性かつ水不溶性の超吸収体材料からなる超吸収体材料であって、前記超吸収体材料が、前記超吸収体材料の第１超吸収体材料膨潤レベルにおける第１ゲル床摩擦角と、前記超吸収体材料の前記第１超吸収体材料膨潤レベルより大きい超吸収体材料膨潤レベルにおける、前記第１ゲル床摩擦角より大きいゲル床摩擦角とを有し、前記第１ゲル床摩擦角が、約２０度であるか又はそれより小さいことを特徴とする超吸収体材料。
【請求項６】
複数の湿潤可能な繊維と、
前記湿潤可能な繊維と組み合わせられ、前記超吸収体材料の第１超吸収体材料膨潤レベルにおける第１ゲル床摩擦角と、前記超吸収体材料の前記第１超吸収体材料膨潤レベルより大きい超吸収体材料膨潤レベルにおける、前記第１ゲル床摩擦角より大きいゲル床摩擦角とを有し、前記第１ゲル床摩擦角が、約２０度であるか又はそれより小さいことを特徴とする吸収体複合材。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図３】

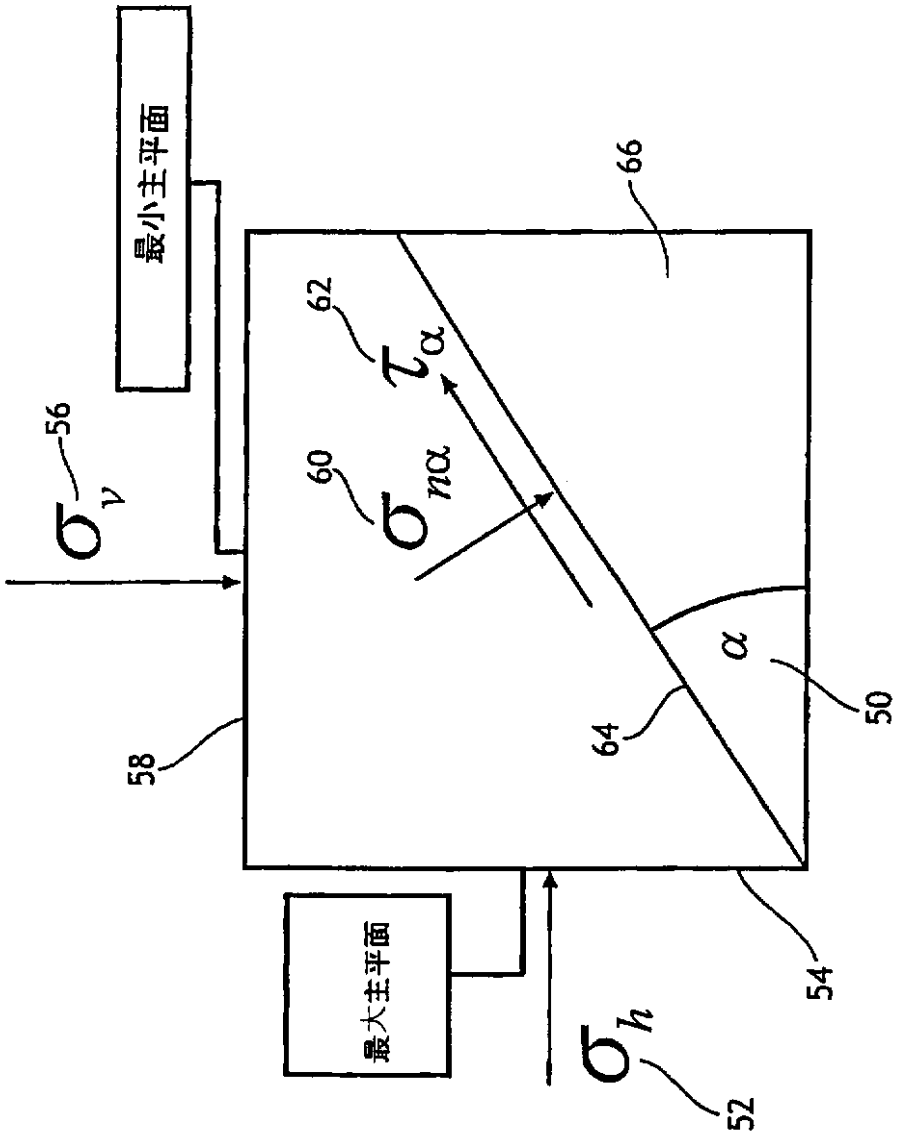

最小主平面
最大主平面
σ_v
σ_h
τ_α
$\sigma_{n\alpha}$
α
50
52
54
56
58
60
62
64
66

FIG. 3